

特定調達品目候補群一覧表（目的物）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
保水性舗装	クールポリシール	クールポリシールは、高空隙のベースアスファルト混合物に、保水効果の高い特殊セメントミルク（クールグラウト）を充填した保水性舗装です。水が蒸発する際の酸化熱を利用することで、より効果的に路面温度の上昇を抑制します。特に都市部におけるヒートアイランド現象の緩和に最適です。	高空隙のベースアスファルト混合物に、保水効果の高い特殊セメントミルクを充填した舗装で、水が蒸発する際の酸化熱を利用することで、より効果的に路面温度の上昇を抑制すること。	ごく一般的に普及した舗装であり、クールポリシールのように保水効果を付与された舗装ではないため。	④③②①	<ul style="list-style-type: none"> ○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました
保水性舗装	保水性舗装	開粒度舗装の空隙に保水能力の優れた保水グラウトを充填させた保水性舗装です。充填された保水グラウトが、雨水などをすばやく吸収・保水し、蒸発・発散させることによって路面温度の上昇を抑制します。	道路の路面温度が抑制されることから、歩行者への負荷低減、ヒートアイランド現象の緩和などが可能	アスファルト舗装(排水性舗装)	④③②①	<ul style="list-style-type: none"> ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
遮熱排水性舗装	クールパービマス	排水性舗装にパーフェクトクール（遮熱コート）をコーティングした遮熱排水性舗装で、排水性舗装の機能（騒音低減、排水機能など）に加え、路面温度上昇抑制機能を付与したものです。特にヒートアイランド現象が顕著な都市部において効果的な多機能型排水性舗装。パーフェクトクールの代表的な色には、濃灰色タイプや灰色タイプ等がある。保水性舗装に比べ、路面温度上昇抑制機能発揮のための、水分補給などの管理が不要。	濃灰色タイプのパーフェクトクールをコーティングした場合、既設アスファルト舗装に対し約10℃の路面温度低減効果が、また、灰色タイプをコーティングした場合は、同15～20℃の路面温度低減効果が得られる。	排水性舗装	④③②①	<ul style="list-style-type: none"> ○本品目については、統合品目「遮熱排水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました
遮熱性舗装	遮熱性舗装	従来の舗装路面に塗装施工することにより、夏場日中の温度上昇及び路面蓄熱を抑制し、夜間の放熱抑制等によるヒートアイランド対策として有効な手段となる。低臭気であり速乾性が高いため、施工時の周辺環境への配慮も可能である。保水性舗装のように舗装そのものを打ちかえる必要がなく、従来舗装の上に塗装するだけの簡易な手法で温度低減効果を発現する。駐車場、歩道、車道、その他民間企業敷地内等、試験施工含め約7800㎡の施工実績がある。	夏場日中の路面温度上昇を抑制するため、夜間の放熱低減によるヒートアイランド対策として有効。	保水性舗装等	④③②①	<ul style="list-style-type: none"> ○本品目については、統合品目「遮熱性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました
保水性舗装	クールペーブ	アスファルト舗装は蓄熱しやすく、夏季の日中には気温30～40℃において60℃にも達することがある。このため、アスファルト舗装が占める面積が大きい都市部では、都市全体の気温を高くするいわゆるヒートアイランド現象の一因になっているとの指摘もある。提案の舗装は、舗装内部の空隙に水分を保持できる吸水性ポリマーが注入されており、保持した水分が蒸発することによって、舗装の蓄熱量を抑えることができ、周辺熱収支量の低減（体感気温差で約2℃）に寄与でき	本提案品周辺の熱収支量を低減でき、降雨や散水後に体感気温差で約2℃涼しさを感ずることができる。	通常のアスファルト舗装	④③②①	<ul style="list-style-type: none"> ○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました

特定調達品目候補群一覧表（目的物）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
保水性舗装	透水性・保水性兼備型ヒートアイランド抑制舗装	排水性アスファルト舗装の空隙の一部に、高炉スラグを原料とした保水材を注入する舗装工法。舗装空隙すべてに注入しないため、透水性を維持しつつ、保水性を付与できる。舗装空隙が残存するため、吸音性も保持できる。保水層に吸収された水の気化熱で路面を冷却し、都市部のヒートアイランド現象を抑制することができる。	・鉄鋼スラグを原料としており、材料リサイクルが促進できる。 ・保水性があるため路面温度を低下でき、ヒートアイランド現象を抑制できる。 ・舗装空隙が残存するため、雨水を道路の路面下に浸透させることができ、かつ道路交通騒音の発生を減少させることができる。	密粒舗装、排水性舗装、半たわみ舗装	④③②①	○本品目については、統合品目「保水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました
車道透水性舗装	車道透水性舗装	各層に透水性の材料を用い、地下に雨水の浸透をさせる重交通道路に対応した車道透水性舗装	各層に透水性の材料を用い、地下に雨水を浸透させることによる自然環境の保全やヒートアイランドの抑制、都市型洪水の抑制を行う高耐久性で騒音低減の道路構造	排水性舗装	④③②①	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、前年度と同じ判断とさせていただきます ○本品目については、統合品目「車道透水性舗装」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○雨水を地下水浸透することによる土壌汚染、地下水汚染への影響が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので、予めご了承ください。
鉄鋼スラグブロック	鉄鋼スラグ水和固化体	鉄鋼業から副生成される鉄鋼スラグを主な材料とする。主な結合材に高炉水砕スラグを微粉砕して製造される高炉スラグ微粉末、骨材に製鋼スラグ、必要に応じて混和材にフライアッシュ等を用い、水和反応によって硬化した固化体である。コンクリートと同様に練混ぜ・打込み・養生することにより製造される。したがって、コンクリート用の製造設備をそのまま使用することが可能である。 主な用途は、消波ブロック、被覆ブロック等の異形ブロック、根固方塊、捨ブロック、上部コンクリート等のコンクリート代替、および捨石代替材の港湾土木材料である。また、コンクリート舗装代替品としても使用できる。	(1) 砂利や砂といった天然骨材を材料に用いないことから、自然環境の保全に寄与する。(2) セメントの使用量が普通コンクリートの0~30%と少ないことから、セメント製造時に発生する二酸化炭素を低減することができる。(3) 海洋環境下における藻類、貝類等の生物付着性に優れることから、生物による海水浄化および二酸化炭素吸収効果に優れる。	コンクリートブロック、コンクリート二次製品、コンクリート舗装、その他コンクリート構造物、および捨石等の石材。	② (①)	○本品目については、統合品目「鉄鋼スラグブロック」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
保水性舗装用ブロック（非焼成）	保水性インター	保水性と透水性という相反する2つの機能を併せ持つインターロッキングブロック。保水性インターは保水と透水のバランスで最適な空隙径を設定している為、水分が飽和状態近くまでは保水し、余剰水は透水する。	透水機能による水溜りの発生やスリップを抑制し、保水機能による夏場の路面ヒートを和らげることができる。	通常のインターロッキングブロック	④③②①	○本品目については、統合品目「保水性舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました

特定調達品目候補群一覧表（目的物）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
保水性舗装用ブロック（非焼成）	ILT	保水性ブロックの主原料となる鉄鋼用軟質水砕スラグは骨材自身に微細な隙間を有し、その隙間に雨水等が浸水し、保水する。保水性インターロッキングブロックは使用原材料として鉄鋼用軟質水砕スラグと、セメントとして生活ごみを主原料としたエコセメントを用いており、天然資源の使用量を削減できる。	保水した水の蒸発の際、気化熱による冷却効果によりヒートアイランド現象の緩和に効果的である。	普通インターロッキングブロック	④③②①	<ul style="list-style-type: none"> ○本品目については、統合品目「保水性舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました
保水性舗装用ブロック（非焼成）	保水性 インターロッキングブロック	インターロッキングブロック舗装材は高炉セメント、粗骨材、細骨材及び軽量発泡コンクリートリサイクル材で構成されたものである。軽量発泡コンクリートリサイクル材は高い保水性を有しており、降雨時、飽和状態まで雨水を吸収し、炎天下の舗装表面温度の上昇を緩和する。また、夏日の打ち水を保水して同様の効果がある。	高炉スラグが30%を超える高炉セメントと建設現場から出る軽量発泡コンクリート廃材をリサイクルした保水材を利用することより、天然資源の節減を図れる。また、環境面でヒートアイランド対策として歩道の路面温度の上昇を抑制し、歩行環境を改善する。	普通インターロッキングブロック	④③②①	<ul style="list-style-type: none"> ○本品目については、統合品目「保水性舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○ヒートアイランド現象抑制効果については、実証実験中であり、現時点で効果が確認されていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました